

Nipron Wave

Vol.64 2021 Summer



ここが見どころ!

- 1 [新製品]PV Oasis 400V
蓄電式自家消費システム「PV Oasis」がパッケージになって登場!
工場、事務所、公共施設、商業施設、集合住宅などで自家消費が1部屋から始められます!
- 2 [新製品]UZP-400シリーズ, mUZP-400シリーズ
「スタンダードモデル」「高ピーク対応モデル」「医療規格適合モデル」などをご紹介!

PVマキシマイザーが可能にする 10年目のリパワーリング

2012年7月にスタートした再生可能エネルギーの固定価格買取制度 (FIT) は10年目に入りました。一般的にパワコンの寿命は10~15年ほどと言われており、FIT制度導入初期から運転しているパワコンは、オーバーホールや置き換え (リプレース) を検討していく時期となっています。ニプロンではこのタイミングに合わせ、PVマキシマイザーを活用したリパワーリング*をご提案しています。

※経年劣化した太陽光発電所の主要部品を新しいものに交換したり、新たな設備を追加することで出力を増強すること。

PVマキシマイザーによるリパワーリング

太陽光パネルは劣化すると、ストリングの電圧が低下します。劣化の進行には個体差があり、劣化が進んだストリングが劣化の少ないストリングに影響を与え、発電量を低下させます。

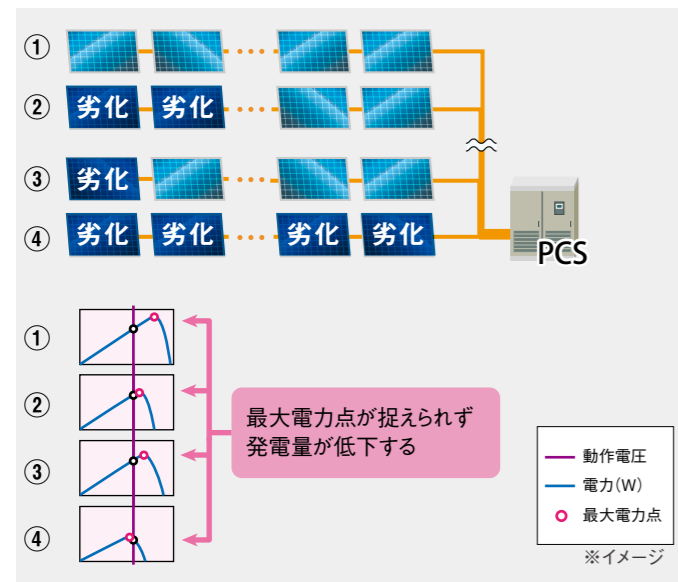
■ 一般的な太陽光発電システム

最も普及しているセントラル方式のパワコンは、30~50ストリングを1台のパワコンにより集中的にMPPT制御を行っています。そのため、各ストリングの発電量に対して平均化するようにMPPT制御が行われます。これにより、発電量の多いストリングは、低いストリングに引っ張られ発電が抑制されます。

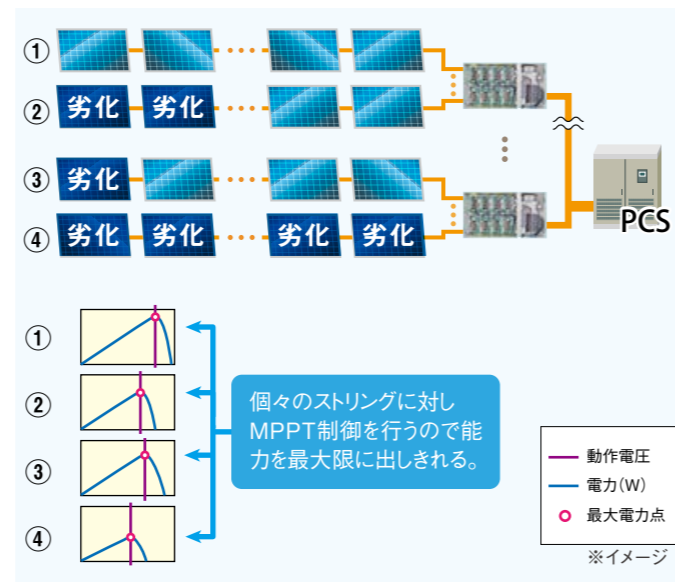
■ PVマキシマイザーを導入した太陽光発電システム

PVマキシマイザーは、個々のストリングに対しMPPT制御を行うため、様々な事情で各ストリングに発電能力のバラツキが発生しても全てのストリングに対し最大化制御が可能のため、それぞれの能力を最大限に発揮することが可能です。また、PVマキシマイザーは多くのメーカーのパワコンと接続実績があります。

発電所のイメージ



発電所のイメージ



低圧仕様のまま1000V系パワコンにリプレース可能

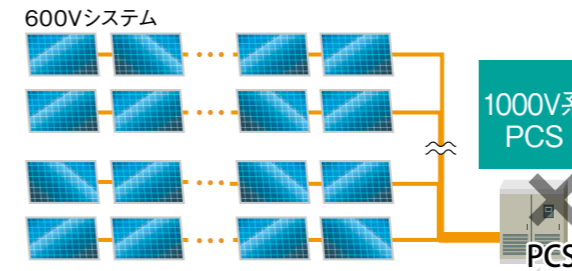
PVマキシマイザーを活用すると600V系低圧システムのパネルレイアウトのまま1000V系高圧システムとして運用が可能です。1000V系システムは600V系システムと比べ高効率なパワコンが選定できるなど様々なメリットがあります。

■ 1000V系パワコンの導入メリット

600V系と比較し高効率な
パワコンが選定可能

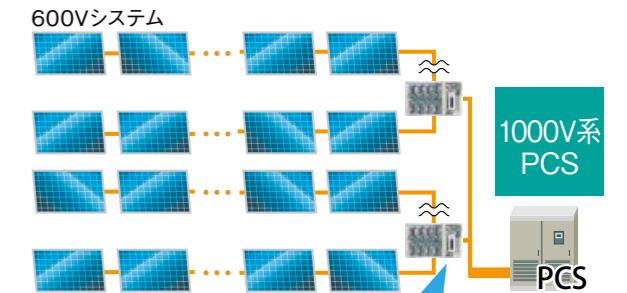
システム内の電圧を600Vから1000Vに高めることで、
電流による送電ロスを減らすことが可能

■ PVマキシマイザーがない場合



パワコンの最小起動電圧を下回るため、
既存の配線では1000V系パワコンは使用できない。

■ PVマキシマイザーがある場合

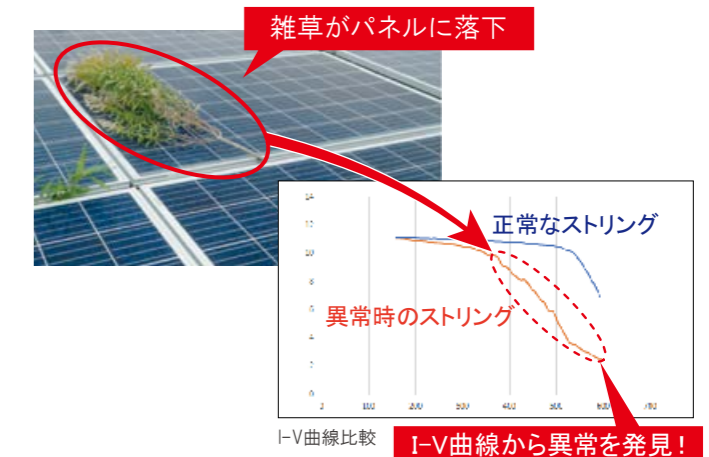


PVマキシマイザーがパワコンの動作電圧まで昇圧するため
低圧仕様のまま1000V系のパワコンが使用できます。
同時にPVマキシマイザーの発電効率改善効果も期待できます。

PVガードマンによる高精度監視に対応

I-V曲線を365日一斉自動測定、変化の兆候を見逃さない

PVガードマンはPVマキシマイザーが測定したストリング単位の発電情報および、各ストリングの健康状態を映す特性曲線 (I-V曲線) のビッグデータをクラウドサーバで管理・診断し、遠隔で異常やその兆候を見つけ通報します。早期発見による発電ロスの低減だけでなく、現地対応などの業務負担を軽減しメンテナンスコストを抑えます。



10年目のリパワーリングこそPVマキシマイザーが大活躍

<http://www.nipron.co.jp/>

毎日の一斉遠隔診断で発電異常を早期に発見

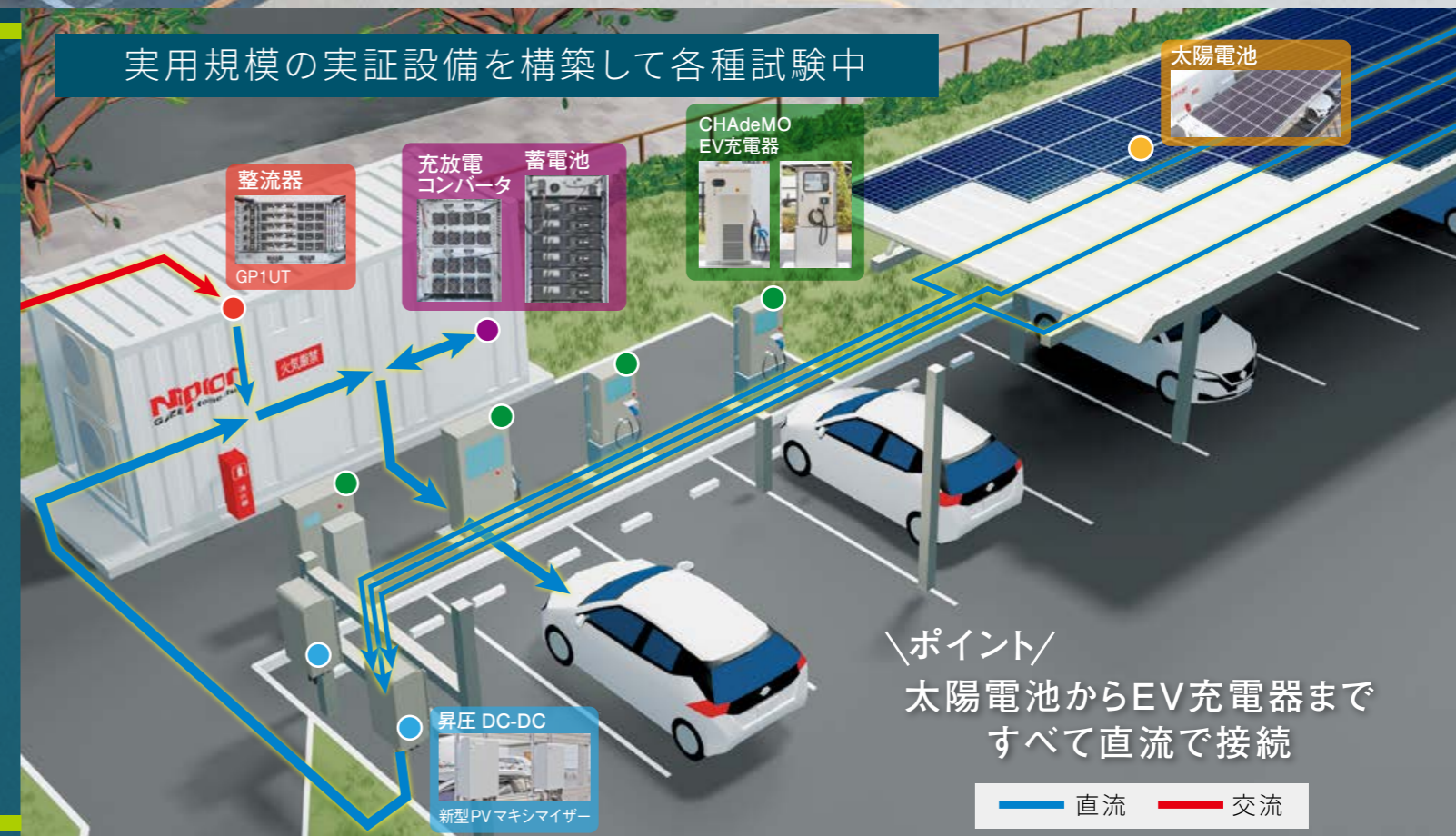
<http://www.nipron.co.jp/>

再エネ100%で電気自動車を運用できる ソーラーカーポートシステム



PV Oasis for ソーラーカーポート EV充電ステーション ニプロンだから出来る、比類なき機能

1. 再エネ100%でEV充電
2. キュービクル無しで急速充電
3. 非常時にも太陽光発電で電力利用

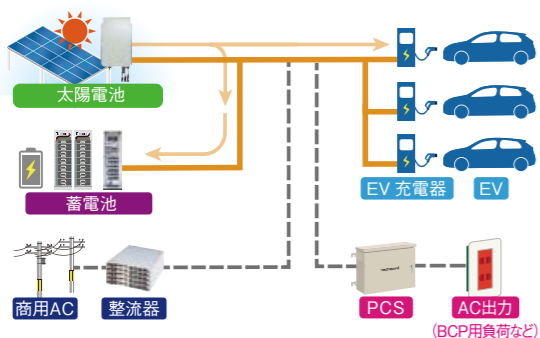




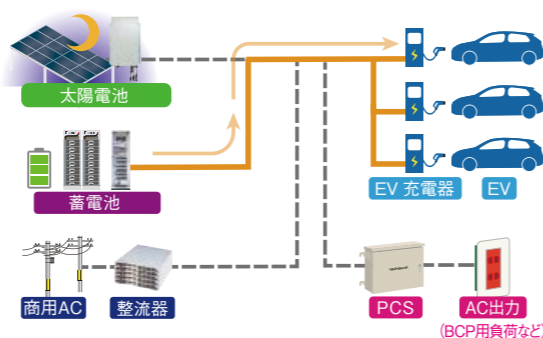
1 駐車場で作った再エネ100%でEV充電

駐車スペースがあれば、太陽光パネルを設置でき、その再生可能エネルギーで電気自動車を充電できます。余剰電力は蓄電池に貯めて使うこともできます。

晴天
太陽光発電が活発でEV充電をしても電力が余る場合、余剰電力は蓄電池へ蓄えます。



夜間・悪天候
夜間や悪天候のときは、蓄電池に蓄えた電力を利用します。



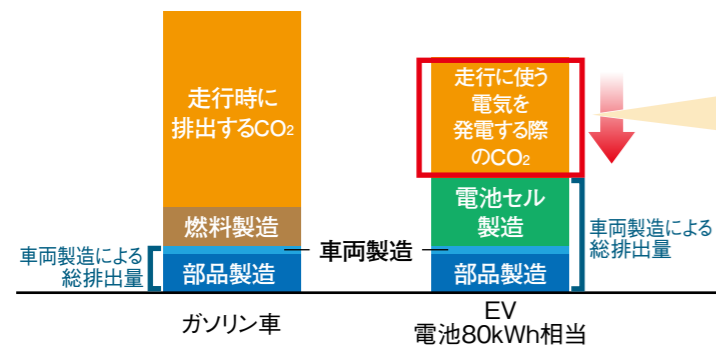
電気自動車は再エネ100%で充電してこそ価値がある？

原料調達・製造・使用・リサイクル・廃棄というライフサイクルでCO₂排出量を評価する「LCA(Life Cycle Assessment)」という手法を用いた環境負荷の軽減が求められるようになってきました。この手法により環境影響を評価するとガソリン車よりも電動車の方が製造時CO₂の排出量が大きくなります。この電気自動車を、国内発電量に占める火力発電比率が75%の商用ACで充電するとガソリン車と電気自動車のライフサイクルでのCO₂排出量の優位性が低くなります。つまり、電気自動車を脱炭素目的で運用する場合、再生可能エネルギー由来の電気による充電が不可欠となります。

カーボンニュートラルの達成にはこうした「すべてのライフサイクル」でのCO₂削減が重要になってきます。



■ LCAの比較*



商用ACで充電した場合、EVであっても間接的に多くのCO₂を排出している。PV発電所建設により排出されるCO₂は含まれないが再エネ100%でEVを充電することでCO₂排出量を大幅に削減でき、EVの脱炭素効果を大幅に向上させることが可能。

(走行距離15万km、発電のCO₂は18年世界平均を想定)

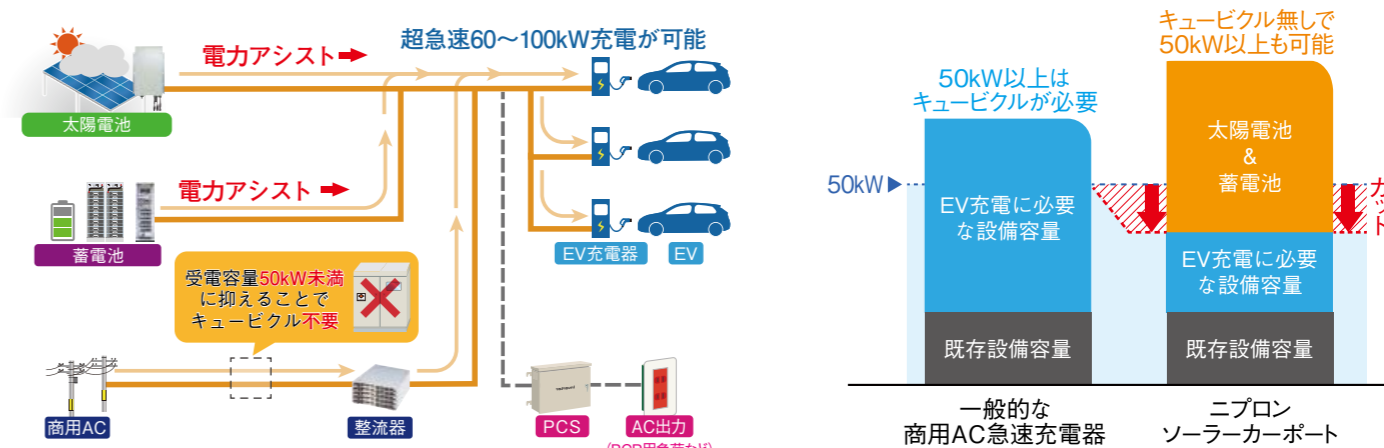
*経済産業省モビリティの構造変化と2030年以降に向けた自動車政策の方向性に関する検討会開催資料をもとに作成

既存駐車場をEVソーラーカーポートに!

<http://www.nipron.co.jp/>

2 キュービクル無しで急速充電/複数のEVを同時に充電

合計50kW以上の充電(急速充電や多数同時充電)の場合も、太陽光発電や定置蓄電池からの電力アシストにより、低圧受電(受電容量50kW未満)で対応できます。低圧受電は、キュービクルの設置や電気主任技術者との契約が不要で、容易に導入・維持できます。

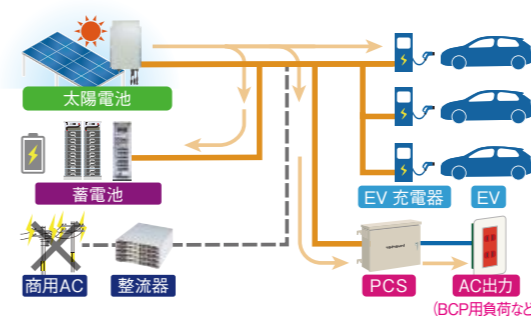


3 非常時にも太陽光発電で電力利用

災害時の広域停電(ブラックアウト)においても、太陽光発電や定置蓄電池から電気を使える避難所になります。常時は再エネ発電/EV充電拠点、被災時は避難拠点として、国や自治体の要請にも応えることが可能です。

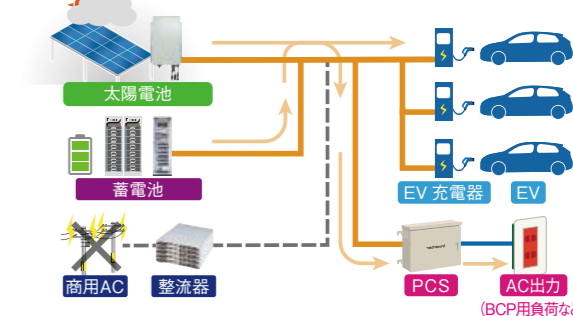
停電 + 昼間 + 晴天

商用ACが停電していても、太陽光発電と蓄電池を組み合わせ、不安定な太陽光発電を安定化して使用、余った電力は蓄電池に蓄えます。



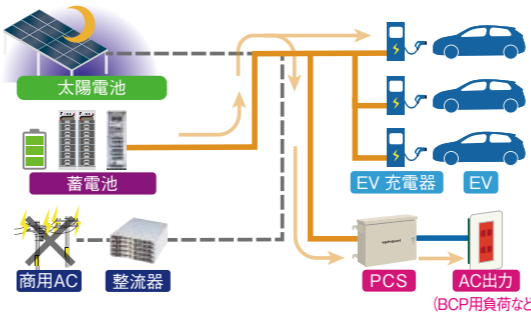
停電 + 昼間 + 曇天

発電電力が少なくなり、電力が不足する場合は、蓄電池に蓄えた電力で補います。



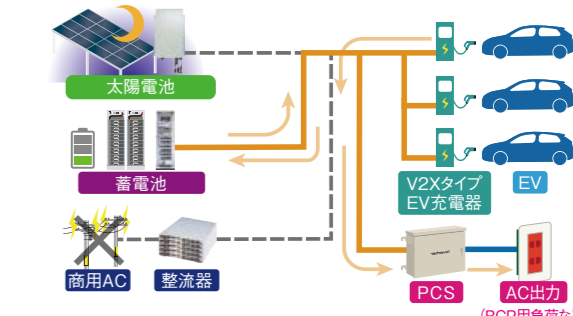
停電 + 夜間

夜間に停電しても、蓄電池からEV充電、非常用設備への電力供給します。



停電 + 夜間

V2Xシステムを介して、EVから非常用設備へ電力供給します。



その他にも、VPP (Virtual Power Plant) など様々な用途へ展開が可能です。

災害時には避難所の非常用電源として活用

<http://www.nipron.co.jp/>

工場・事務所・公共施設・商業施設・集合住宅等向け

1部屋から始める蓄電式PV自家消費

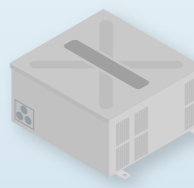
ゼロ・エネルギー・ルームをワンパッケージで始められる

PV Oasis 400V ハイブリッド (太陽光発電+蓄電池) 自家消費



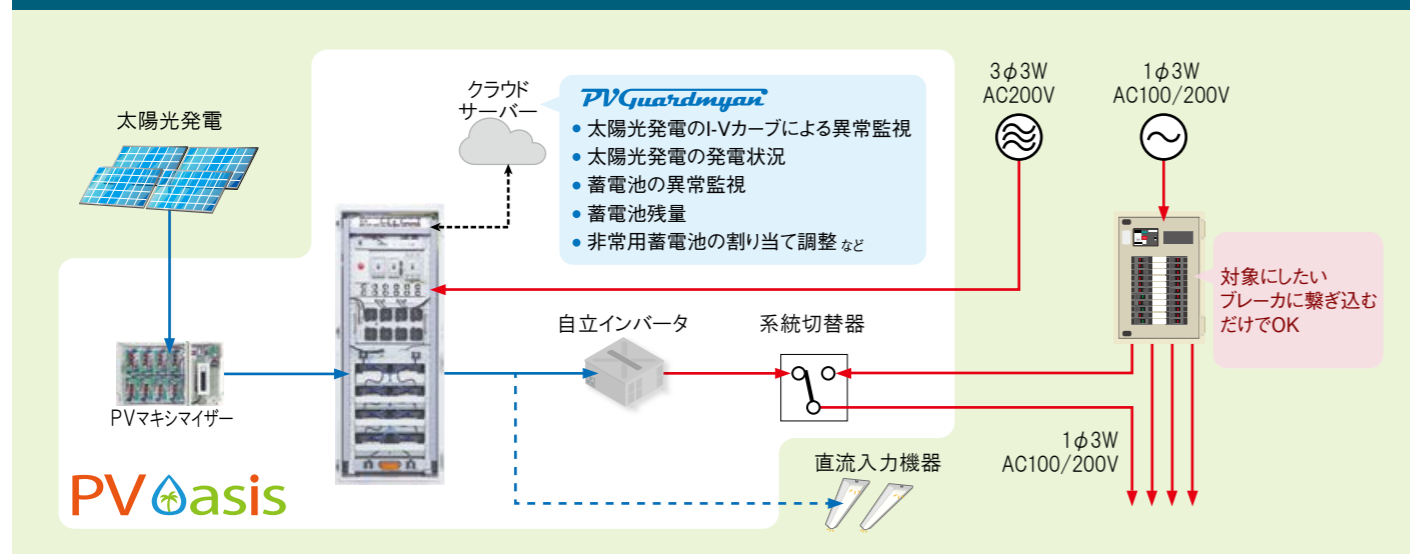
蓄電システムラック仕様

項目	仕様
入力	三相3線200V
出力電圧	DC400V Max
蓄電容量	9.9kWh
整流容量 (選択可能)	5.7kW 10kW
充電定格	10kW
放電定格	10kW



自立インバータ

接続イメージ (単相3線100/200V系)



1部屋から始めるゼロ・エネルギー・ルーム

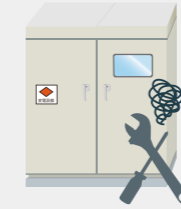
<http://www.nipron.co.jp/>

特長

ポイント1 キュービクルは触らず分電盤のブレーカに繋ぎ込み

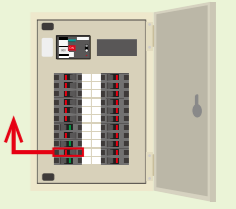
一般的な自家消費

キュービクル改造をとまなう。
新品に全交換すると大掛かりな工事になる。



PV Oasis

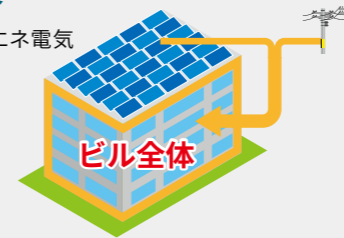
再エネ給電や無停電の対象にしたい分電盤のブレーカを選んで接続。対象ブレーカは後から変更も可能。



ポイント2 再エネの消費先を特定できる

一般的な自家消費

系統の電気と混じり合って再エネ電気がどこに行ったか分からない。



PV Oasis

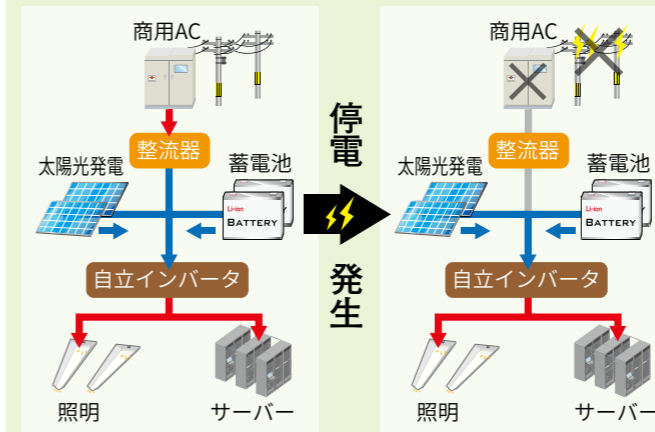
再エネ電気の行先が分かるから自信をもって再エネをアピールできる。太陽光発電の発電状況や蓄電池の動作状況はPVガードミャンでリアルタイム表示。



ポイント3 蓄電池内蔵

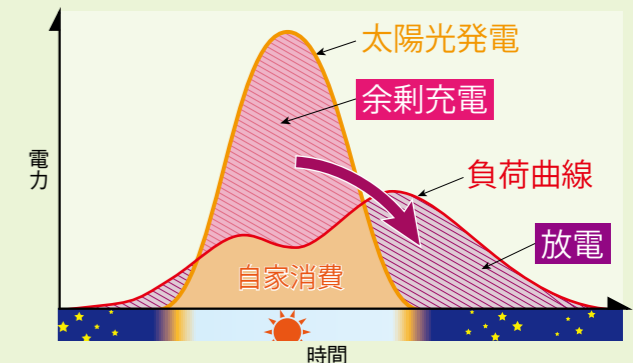
停電しても電気の供給が可能

常時自立運転なので、無停電で給電の維持が可能です。



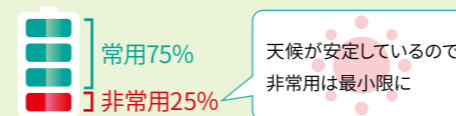
太陽光で昼に貯めた電気を夜間に活用

昼間の余剰電力を【充電】、朝・夕・夜に【放電】し系統からの買電を削減できます。

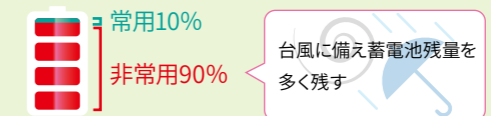


非常用蓄電池の割り当てを任意で調整可能

PVガードミャンにより災害の発生が予想される場合には蓄電池を非常用として残すことが可能で、BCP対策としての運用が可能です。



天候が安定しているので非常用は最小限に

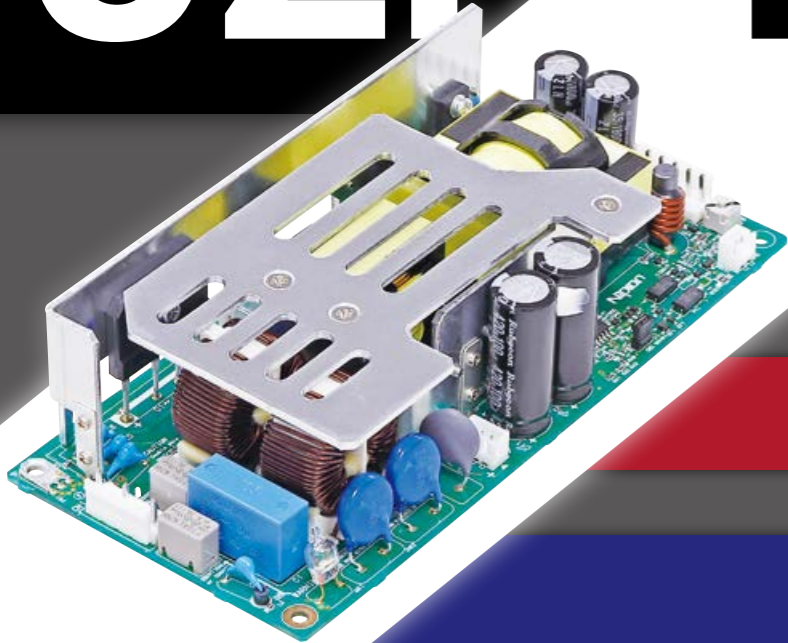


台風へ備え蓄電池残量を多く残す

ニプロンが他にはないエコの新しい形をご提案します

<http://www.nipron.co.jp/>

UZP-400 series



スタンダードモデル

従来品から大容量化と小型化を実現したUZPシリーズの集大成

高ピーク対応モデル

連続電力400Wの3倍のピーク電力1200W出力に対応

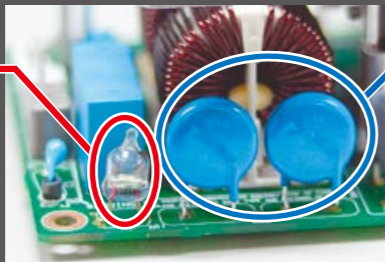
医療規格適合モデル

医療規格UL60601 (MOPP) の取得を予定しており、医療機器にお使いいただけます

アレスタとバリスタを搭載し雷サージ耐量強化

サージ保護素子としてアレスタとバリスタを搭載し、雷などの外来入力サージに対する耐量を強化しています。

アレスタ



バリスタ

コモンモード:実力±8kV

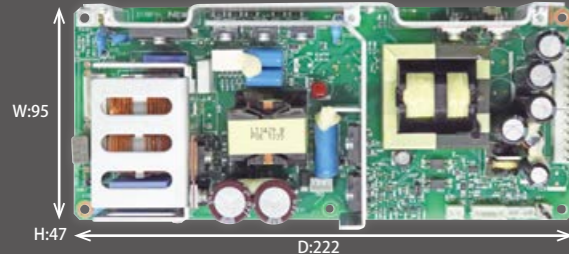
小型大容量化を実現

UZP-400シリーズは、当社従来品OZP-350シリーズと比較し、連続容量は50Wアップし、体積比は約30%の小型化を実現いたしました。

UZP-400/1200Pシリーズ 連続:400W ピーク1200W

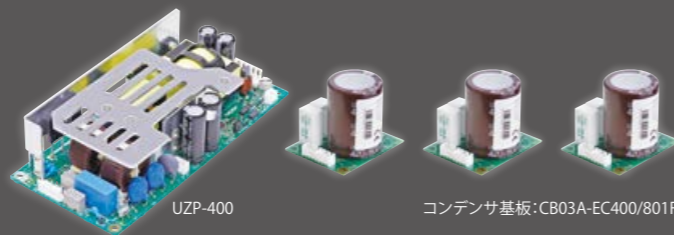


OZP-350シリーズ 連続:350W ピーク600W (2012年発売)



瞬停バックアップ対応可能

コンデンサ基板を接続することで、出力保持時間の延長による瞬停バックアップを実現。(オプション、UZP-400/1200Pを除く)



その他特長

■ シャーシ付き、シャーシ・カバー付きタイプもラインアップ

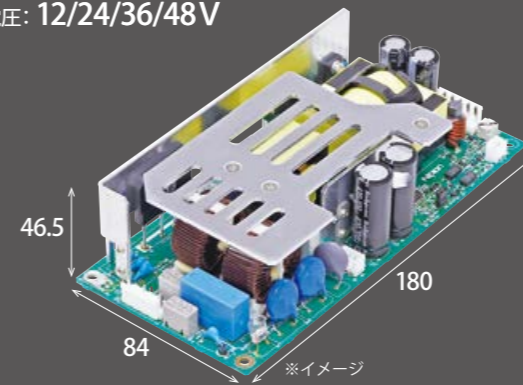


シャーシ・カバー付きタイプ
※イメージ

■ リモートON/OFF機能付

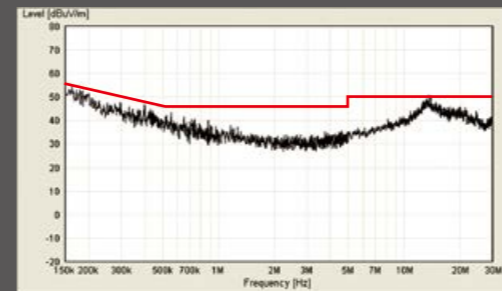
スタンダードモデル UZP-400 Series

連続:300~400W ピーク:500~600W
出力電圧:12/24/36/48V



雑音端子電圧VCCI ClassBをクリア

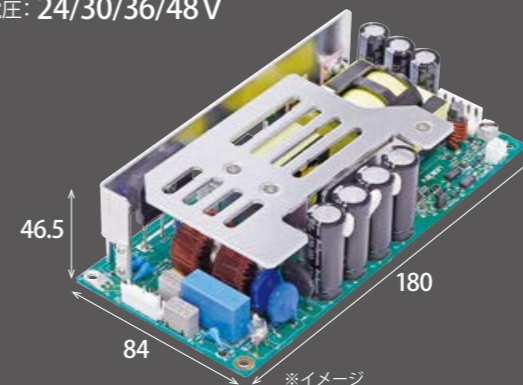
電源単体で雑音端子電圧VCCI ClassBをクリア。外部にノイズフィルターを設置する必要が無く、コストダウンと工数負担削減に貢献します。



測定条件
入力:AC230V
出力:定格負荷
(実測の一例)

高ピーク対応モデル UZP-400/1200P Series

連続:400W ピーク:1200W
出力電圧:24/30/36/48V



小型大容量・高ピーク対応を実現

約3倍のピーク負荷に対応(AC200V入力時)

5秒のピーク出力が可能で、モーターなどの始動電流を必要とする機器にも最適です。

医療規格適合モデル mUZP-400 Series

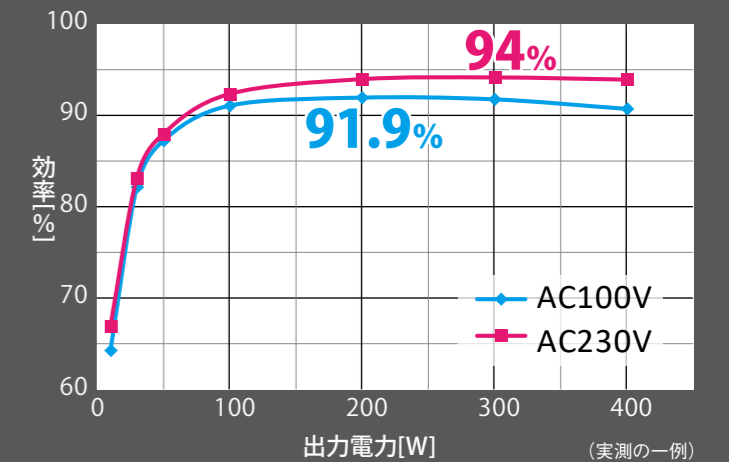
UL60601(MOPP)、UL(cUL)62368-1取得予定、EN62477(OVCIII)準拠

出力仕様

UZP-400-A	12	24	36	48
出力電圧	+12V	+24V	+36V	+48V
連続電流	25A	16.7A	11.2A	8.4A
連続電力	300W	400.8W	403.2W	403.2W
ピーク電流(10秒以内)	41.7A	25A	16.7A	12.5A
ピーク電力(10秒以内)	500.4W	600W	601.2W	600W
入力電圧	AC85~264V (ワールドワイド入力)			
安全規格	UL(cUL)62368-1取得予定、CEマーキング対応 EN62477 (OVCIII) 準拠			

高効率&低発熱設計

AC230V入力時で94%typの高効率化を実現。高効率化により発熱を抑制しているため熱対策に掛かる工数やコストの削減に貢献します。



出力仕様

UZP-400/1200P-A	24	30	36	48
出力電圧	+24V	+30V	+36V	+48V
連続電流	16.7A	13.4A	11.2A	8.4A
連続電力	400.8W	402W	403.2W	403.2W
ピーク電流(5秒以内)	50A	40A	33.4A	25A
ピーク電力(5秒以内)	1200W	1200W	1202.4W	1200W
入力電圧	AC170~264V			
安全規格	UL(cUL)62368-1取得予定、CEマーキング対応、 EN62477 (OVCIII) 準拠			

連続 400W ピーク 1200W
約3倍のピーク

連続:300~400W ピーク:500~600W
出力電圧:12/24/36/48V

※掲載製品は開発中のため記載している仕様、外觀などは予告なしに変更することがあります。

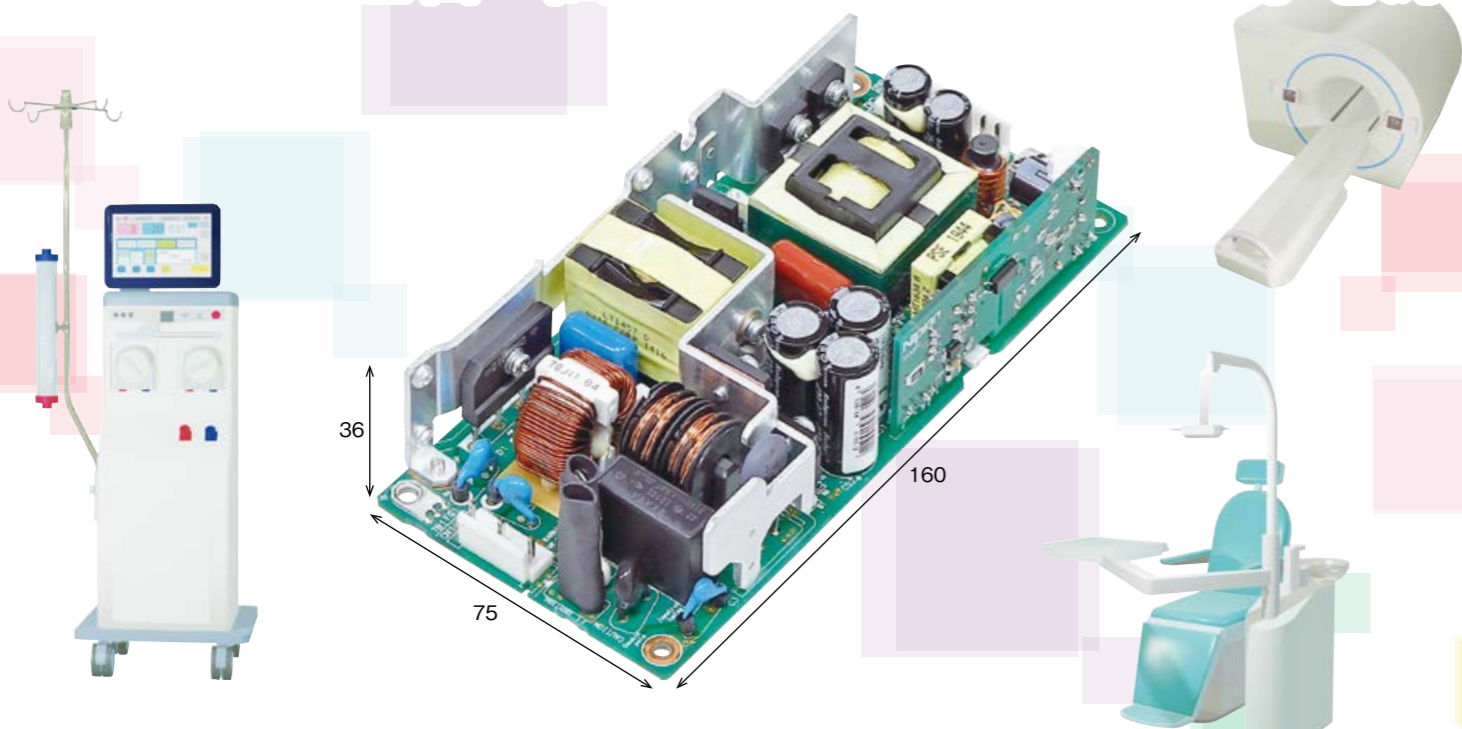
従来品から容量アップと小型化を実現

<http://www.nipron.co.jp/>

高ピーク対応モデルや医療規格適合モデルもラインアップ

<http://www.nipron.co.jp/>

医療規格適合 高ピーク基板型単出力電源



NEW mUZP-220/520P-24S05

医療規格： IEC60601-1 Ed3.1 MOPP 取得予定

医療規格申請時に電源装置の審査が基本的に不要となるため申請期間や申請費用の削減に貢献します。

低漏洩電流 & 低ノイズ

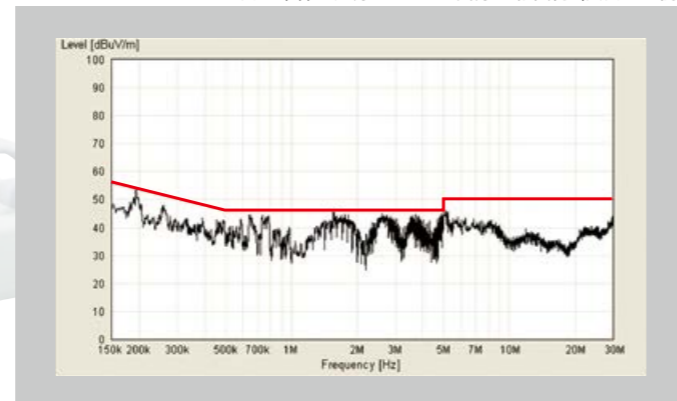
漏洩電流をAC100V時0.089mA、AC200V時0.175mAまで低減しながらも、ノイズフィルター回路の強化や、部品配置の最適化などにより、雑音端子電圧は電源単体でもVCCI ClassBをクリア。外部にノイズフィルターを設置する必要が無く、コストダウンと工数負担削減に貢献します。

低漏洩電流

	最小負荷	定格負荷
AC100V	0.089mA	0.089mA
AC200V	0.175mA	0.175mA

電源単体で雑音端子電圧VCCI Class Bをクリア

測定条件 入力:AC100V 出力:定格負荷 (実測の一例)



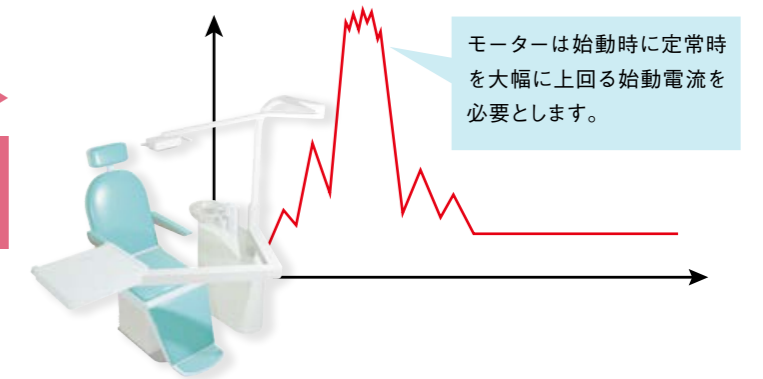
小型大容量・高ピーク対応を実現

約2.3倍のピーク負荷に対応

5秒のピーク出力が可能で、モーターなどの始動電流を必要とする機器にも最適です。



ピーク負荷イメージ



スタンバイ出力付き

スタンバイ出力(5V/1.5A)に対応

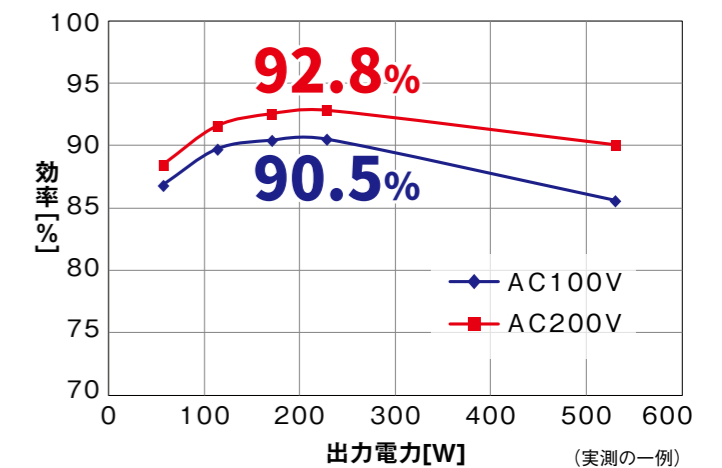
スタンバイ出力用の別電源を用意する必要がなく、装置の小型化・低コスト化に貢献します。



高効率を実現

電力損失を減らし発熱を低減

AC200V入力時で93%typの高効率化を実現。高効率化により発熱を抑制しているため熱対策に掛かる工数やコストの削減に貢献します。

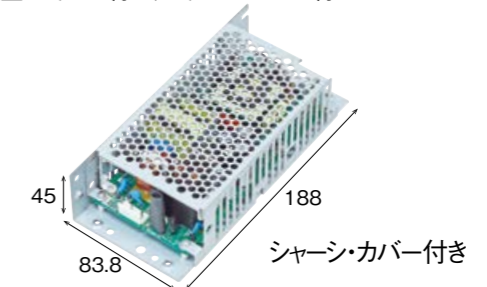


出力仕様

出力電圧		+24V	+5VSB
最大電流/ 最大電力 (連続)	自然空冷	9.2A	1.5A
		220.8W	7.5W
	合計220.8W		
	強制空冷	13.8A	1.5A
331.2W		7.5W	
合計331.2W			
ピーク電流/ ピーク電力(5秒以内)		21.7A	2A
		520.8W	10W
合計520.8W			
最小電流		0A	0A

その他特長

- 出力電圧可変ボリューム付
- ワールドワイド入力(AC85 ~ 264V)
- 両切りヒューズ内蔵
- シャーシ付き、シャーシ・カバー付きタイプもラインアップ



※掲載製品は開発中のため記載している仕様、外觀などは予告なしに変更することがあります。

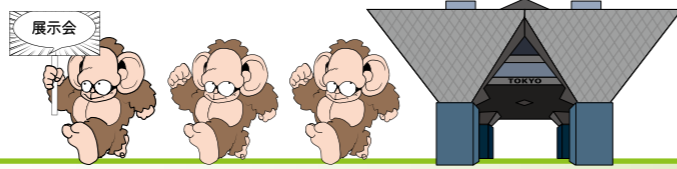
国内外の実績多数!ニプロンの医療規格適合電源!

<http://www.nipron.co.jp/>

約2.3倍の高ピーク出力で一時的な高負荷に対応します

<http://www.nipron.co.jp/>

展示会出展のご報告



第36回 電源システム展に出展致しました。

6月23日～25日の3日間、東京ビッグサイトにて開催されました、「第36回 電源システム展」に出展致しました。本展示会は、パワーエレクトロニクス、パワーコンディショナー等による電力変換や、UPS、キャパシタ等による電力安定供給に関する最新技術が一堂に集まる、日本で唯一の「電源」に関する最大規模の専門技術展です。

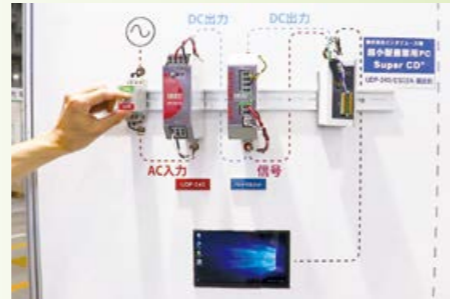
ニプロンブースでは、DINレール対応電源「UDPシリーズ」、リチウムイオン電池を内蔵し停電のバックアップに対応したATX電源「HN5P-350P」、スタンダードモデルに加え、大容量ピーク出力対応モデルと医療規格適合モデルもラインアップ予定の「UZP-400シリーズ」、小型単出力電源「FZP-040」、医療規格適合予定の単出力電源「mFZP-075」等、新製品をメインに展示いたしました。

いくつかあるデモンストレーションの中で、DINレール対応のコンデンサユニット「DS01A」の瞬停対策デモとリチウムイオン電池内蔵バッテリーパック「DS02A」の停電対策デモを今回初めてご用意しましたが大きな注目を集めました。

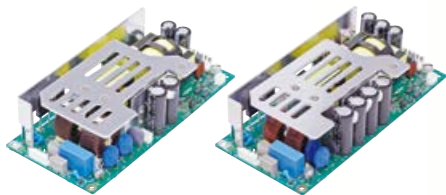
脱炭素化社会に向けた再エネ向け製品の「ソーラーカーポートEV充電ステーション」のご提案では予想よりも多くの方に興味を頂き、脱炭素化の関心の高さを感じました。お立ち寄り頂きましたお客様には心より御礼申し上げます。



DS01Aを使用した瞬停対策デモ



DS02Aを使用した停電対策デモ



新製品
UZP-400シリーズ
本誌9ページ



新製品
mFZP-075



新製品
FZP-040



新製品
UDPシリーズ
DS01A-EC400/172F
DS02A-L24/2.5L-B



新製品
HN5P-350P

多種多様の電源を取り揃えています！まずお電話を

<http://www.nipron.co.jp/>

ニプロン電源をご採用頂いたお客様の声



Interview

国内生産だからその安心感と信頼性がニプロン電源採用の決め手。

産業用途の多様な要望に応えるカスタムPCを企画開発・国内自社工場にて製造している「ロジテックINAソリューションズ株式会社」様の標準電源として採用されています。

ロジテックINAソリューションズ株式会社
PC開発部伊那開発チーム 菊島 峰明 様 PC営業チーム 吉澤 亨 様

弊社電源をご採用頂いた背景をお聞かせください。開発としては信頼性であったり国産電源を使用していると謳えることや、営業としても国内で生産している国産電源というところで、お客様からのニーズや信頼度が非常に高いといったところが主な背景になります。製品を販売した後のアフターフォローもしっかりしていただけるので非常にありがたいと思います。

他社のPC電源メーカーの製品と比較した際に違いはありますか？

そもそもニプロンさん以外をあまり採用していません。その理由はやはり「信頼性・国内生産・安定供給・アフターフォロー」の4つがあるから、ニプロンさんの電源を採用しています。やはり安心感があるというのが一番大きいです。

ロジテックINAソリューションズとしても販売しているPCをお客様に使っていただく中で、しっかりとサポートをやっている、徹底的にサポートしているという考えでやっている中で、サポート体制がしっかりと構築されていないメーカーさんの部品を採用して、PCとして販売するのはリスクの高いことなので、そこは開発とも部品選定の方針は一緒です。そういうメーカーさんであるということがニプロンさんが持っている安心感というか信頼性というものに繋がっていると思います。電源はPC部品の中では一番大事な命というか、供給している部品が安心できるというのは非常に大きなアドバンテージになります。

例えでよく言うのは、「マザーボードが頭脳なら、電源は心臓である」という言葉があって、そこがきちんと供給されないと製品として動かないという事態になります。また社内でも電源1個変えただけで製品の全評価がやり直しになる程、電源は重要な部品で簡単に変更するというのは難しいです。

コスト面では海外電源の方が安いですが、デリバリーやMOQの部分はどうでしょうか？

ニプロン電源を採用する上で、海外製品と比較すると、価格が高いという点がありますが、その分当然海外製品より品質が良いです。海外製品は日本国内の仕様に合わせてモディファイ対応してほしいという要望を出しても、手を付けてくれなかつたり対応してくれたとしてもMOQの制限がある(例えば1000台以上)というところがあります。ニプロン電源はコストとしては高い部分はありますが、元々手を入れなくてもそのまま使用できたり、デリバリーの面でMOQが少ないというのが大きなポイントになります。

ニプロン電源を使ったPCを販売して良かったと感じたことはありますか？

例えば電源一個の故障や不具合についてどうしても解析をお願いしたいという要望に対して、海外のメーカーだと調査をしてくれないが、若干の有償でもかまわないからということでニプロンさんにお願いしたら快く引き受けてくれました。そういった部分が、国内のメーカーとして事業を行っている企業はいい意味で違うと感じました。「電源ユニットだけも故障したら修理や解析などに対応してくれる、電源だけ送ることもできるんだね、それなら問題ありません」と、安心して頂けます。

ニプロン電源を搭載した御社PCの評判満足度はいかがですか？

クレームというか製品の問題がほとんど無く、数えるほどしか起きないのであまり文句を言われません。10年位の中で数えるほどしか起きてない、その場合でもしっかりご対応頂いています。

今後の展望をお聞かせください。

デスクトップ系に関しては、画像処理分野への取り組みを更に強化しようと考えています。画像処理となると24時間連続稼働を要求される現場になってくるので、部品そのものの品質と信頼性が要求されます。電源はもちろん他の部品も含めて、品質の良いものを選定して使用していきたいと考えていますので、ぜひともよろしくお願いいたします。当社の特長でもある、長野県の伊那工場国内生産を行っていることで、その信頼性を強みにして事業を行っていかれたらと考えています。



LC-9AS62

Cascade Lake世代のXeonプロセッサ搭載
拡張性に優れたミドルタワー型コントローラ



HPCSA-1000P-E2S

ピーク1000W対応大容量ATX電源
24時間365日連続運転可能な高信頼性設計

「電源に困った時」ニプロンにご相談下さい

<http://www.nipron.co.jp/>

社長の ニプロンを 語る!!

ニプロンの志

2021年7月23日、待ちに待った東京オリンピックが後2週間程で開催となります。日本国代表として、この栄誉ある出場資格を得るため厳しい闘いを勝ち抜き内定を得た多くのアスリートは、まさに人生を懸けた闘いであつたでしょう。惜しくも僅差で負けた人も人生を懸けた闘いであつたと思います。多くの日本国民もアスリートの心情を理解し、応援したい気持ちであると思います。長引くコロナ禍は、出場選手と国民に複雑な感情を生み、無観客開催が取り沙汰され政治利用されている現状を憂います。私の想い、考えは無観客開催では参加する世界中の選手や、選手を送り出す多くの国の人達の興味を削ぎ、燃えない無味乾燥の祭典になるのではないかと危惧すると共に、コロナ禍に沈む多くの国民に対して、スポーツの力で元気・活力を生み出そうと奮闘する選手達の想いや活力を削ぐことに繋がり、誠に勿体ない事であると思う。観戦するか否かは自己判断に委ねるべきで、一見正しそうな意見で政治的利用する政治家、マスコミは問題であると思う。菅首相も不慣れな感じがし、同情したくなる。

競技が始まれば、この停滞したムードをぶち壊す活躍で金メダルラッシュを演出して欲しいと思います。金メダル数は40~50個位期待できるのではと予想します。

長引くコロナ禍と繰り返される緊急事態宣言等を通じて経済活動の在り方、働き方が既に大きく変わりつつあり、DX(デジタルトランスフォーメーション)による大きな変化が革命的に起きている。コロナ後は元に戻るのではなく、更に革新的変化が進むと予想される。

世界も同様に大転換するだろう。今まで予想されてはいたが、遅々として進まなかったEX(エネルギートランスフォーメーション)と呼ばれる大変化が起きつつある。キーワードは脱炭素であり、自動車のEV化、EUから進む直流給電への流れが日本にも波及しLVDCの規格化が進み始めた。これは長年NTTが中心となり進めていたが大きい流れにはならず、なかなか普及しなかった。今後はEX化の流れで進み始めると読む。ニプロンはこのトレンドを先取りする形で事業戦略を立て進めてきたため待ち構え戦略で臨む。

大きく時代が変化することを予想し、来るべき時に備え、GP(グリーンパワー)事業として戦略的に先行し事業化を進めてきたが、この分野は大手企業のフィールドであり、真っ向からぶつかる競争はするべきでなく、ニプロンが先行し商品化したPVマキシマイザー&PVガードミャンや蓄電システムのNeo eXpanderや整流器などを標準品として提供し、電源事業と同様に活用頂くのが理想と考えている。

その他、パッケージ商品としてEVソーラーカーポートも大手企業様へ組み込みシステム用として提案させて頂き、大型VPPシステム等に組み入れをして頂く等、Win-Winの関係が構築されています。こういった分業関係が、これからの日本の製造業の在り方と想像しています。無益な競争をする余裕はないと思います。

その一方で生産能力、品質、デリバリー対応力が求められると思うので、それらの強化を現在図りつつあります。

ニプロンはDXに固執せず(過去からDXの本質を理解し適宜進めて来たため)に、今後のリスクと考えられる中国での加工品委託生産(プレス物・ハーネス類・巻物)のサプライチェーンの国内回帰、及び内製化にリソースを注ぎ、デリバリーの安定を図り顧客の安心・信頼に応える道を優先したい。既に板金、プレス類の内製化は子会社(シム技研)と共に、ニプロン自身による内作を行うため、多くの自動化機械装置の導入、更に生産技術部門による省力・省人化システムの開発を進める等、国内生産化による原価の高騰を徹底して抑え込む考えである。

商品戦略は「壊れない Non broken」「潰れない Non destroyed」「止まらない Non stop」の電源創りポリシーで差別化商品をタイムリーに積極的に提供していく。

今後の事業の柱となるGP(グリーンパワー)事業は前述した通りであり、ニプロンの志である活力ある永続と、年商300億円、1000億円企業として世界の著名電源専業メーカーを目指し、ニプロン魂を燃やし続けて行きたい。

令和3年7月 酒井 節雄

人材募集

- グリーン電源関連経験の営業・技術者

弊社人事部までご連絡下さい。
TEL:06-6430-1101



株式会社 **ニプロン**

<http://www.nipron.co.jp>

- 東部営業部 TEL:044-752-1106 FAX:044-777-8811
〒213-0022 神奈川県川崎市高津区千年622番地1
- 西部営業部 TEL:06-6487-0605 FAX:06-6487-2185
〒660-0805 兵庫県尼崎市西長洲町1丁目3番30号
- 名古屋営業所 TEL:052-602-4411 FAX:052-602-4311
〒461-0040 愛知県名古屋市東区矢田1丁目9番29号 栄ビル1階C号
- Web問合せ E-mail: support@nipron.co.jp

